

36562

璵

本調書以部院文及強弱數極者等。於吳地方復員局人事部
長宛通報。非不認。其時記載。吳鎮在將持署之官。准文官。下士官。兵。付記載。又
同部野人。勿論。地村縣出身者。說。又記載。又
知得。範圍。於。出。得。詳細。記載。又
地。人。事。項。各當該。相。方。記載。又

興地方復員局又事部長宛

獨

35649

35649

現 報 証 明 書

一 本 地 籍 地

一 官 署 級

一 氏 名

海軍上等五等計官曹

一 戦 役 年 月 日 昭 和 二 十 年 八 月 十 七 日

一 戦 役 場 所 和 平 島 以 下 (大 陸 五 等 院)

一 戦 役 人 員 現

昭 和 二 十 年 八 月 十 七 日 敵 軍 艦 同 時 一 方 大 陸 五 等 院 二
 配 属 五 等 院 五 等 計 官 曹 大 陸 五 等 院 五 等 計 官 曹
 前 線 二 方 五 等 計 官 曹 五 等 計 官 曹 五 等 計 官 曹
 給 食 作 業 二 提 身 中 昭 和 二 十 年 八 月 十 七 日 以 下 五 等 院
 十 新 地 米 二 旅 十 五 等 院 五 等 院 (二 方 五 等 院) 五 等 院 二 五 等 院
 十 五 等 院 二 十 五 等 院 五 等 院 五 等 院 五 等 院 五 等 院 五 等 院 五 等 院

(日本ノ一ノ一)

125

35149

陸 年

是より四十八軒世果つて元々（地区）野嶽新松院へ後
述昭和三年四月十七日迄一軒松院に
加増親睦也

昭和三年六月二十一日

原稿

元嶽寺より書状

是地方復興局より人事課へ宛

元ノ水

右者昭和三年八月十日頃石島にて傳染病に
罹り同年八月十七日石島より青島に到りけ
るに死にしと云ふ事なり昭和三年八月二十日午後
に死にしと云ふ事なり

子辰

昭和三年

病名

傳染

死之

昭和三年

私儀不在にて右通知ありし故に御許へ

香川縣

本回春に東へ出張

調査係殿

520.8.20

云時

死歿者調查書

本籍地

縣

市

町

村

番地

現住所

縣

市

町

村

番地

所屬部隊

二〇四

大隊

中隊

班

番地

入籍年月

長

役種

兵種

入籍簿

番地

官年級

水長

生年月日

入籍簿

番地

番地

番地

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

内地渡出年月日

卷二 五

氏	所屬部隊	現任所	本籍地
名	官職及部別		
	官等級		
	待遇及待遇別		

備考

本調書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等吳地方復員局人事部長宛通報スルヲ責仕者ニ於テ知得ニテ又上級タルモノニ付記載ス

吳鎮在籍，將務士官、准士官、下士官、兵、付託、氣、

典知得之範圍。於乎出未得也。限。詳細。記載。

シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス

卷之五

卷之五

證明書

不籍地
軍部所屬

海軍上幕僚部員

右者は出水海軍航空隊に昭和十九年五月同隊より二十一分隊に転属し入隊し昭和十九年九月同隊を退き同月普通科整備所へ編入されしと二十一分隊に入隊し同隊中

昭和二十年一月一日同隊病室に於て流行性脳膜炎のため死亡したることを証明する（昭和二十年一月一日）

同隊に於て二十一分隊より二十一分隊と頭書人の教習として勤務し又その後の北の森同様に立会ったこと

右記各人の出水海軍航空隊に於て死亡したることを証明する

昭和二十七年七月二十日

現住所
前住居所
海軍少尉

現住所

①

現況不明者究明調書

(調査期日 7月7日 場所 鶴岡)

姓	名	部	隊	等	級・身分	氏
6/1	5/	警	水	長		
出身	県	河	管	局	方	面
		二	横	見	佐	千島
申	は自らの同年兵であり同じく水警隊(片岡)に居て親しい中である。所有物と一緒に持参しての物に付いては、6/1の夜、中隊に居た時生存者の中に片岡から来たもの、確かな戦死したと聞いていない。後で同僚の口には片岡合同葬で付中にあると聞いている。					
家	住	所	姓	氏	名	
住	所	部	隊	等	級	氏
		5/	警	水	長	
調査	戦後交点と認む					

1. 本調書、甲第一、乙第二を調製する
2. 甲第一、乙第二を調査官にて記入し(鉛筆書にて可)解復人に送付する
3. 乙第二、解復人にて甲第一より三箇調製
 - 調査世話課へ一通
 - 調査復員局へ一通
 - 調査世話課へ一通(復員局経由)
4. ※欄は解復人で記入する

82

現況不明者究明調書 (調査期日 新 月 日)

氏名	6/1 5/ 警 二 中	氏名	[REDACTED]
出身府縣	二 横・奥・佐・神	入籍番役・軍属は誤遺元	
申告者	千 島		
申告事項	如左. 18 博愛丸で戦死		
家族	住 所	氏 名	
復員者	住 所	部隊番	氏 名
	[REDACTED]	上 蔵 中	[REDACTED]
調査官	申告事項の通り処理を可とする		

神島地方視察 陸務處理部

※ 7 月 9 日

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）調査人に送付する
3. 乙號……調査人にて甲號により三通調製
 調査官電話へ一通
 所管復員局へ一通
 前 世話課へ一通（復員局経由）
 } 送付する
4. 家欄は調査人で記入する

書 畫

6327

66

光緒二十一年正月

本籍地

本籍地

記

右封仔湖今以政度假工現地信製書局
時有建屋者中亦設不報告八提生極其一二
現作大橋頭有復同收客都二於一書文小影就
者道場名錄一控一子老令六金向六八千五
力上存假其右一治才十二官數十取計十七受

2117



新館地方復興會
事務部

28-12

6359

X



6830

2040

光復者調書 特准

本籍地	現任所	所屬部隊	入會日	軍事級	姓名	入籍地
勳勞、概年						
戰時、戰況						
光復、出處所						
如、由、告、云						
北、和、三、年、九、月、二、十、日						

本籍地	現任所	所屬部隊	入籍地
姓名			

備
 一、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 二、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 三、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 四、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 五、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 六、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 七、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 八、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 九、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 十、本調書、係根據、光復者、於、光復、後、自、人事、部、表、定、
 吳市、吳地、有、復、員、列、人事、部、表、定、 完

宮崎県 48

整理番號

明

元海軍軍人現況不明者調書

所轄(昨今年月日) 三知(県) (昭 年 月 日)	等 氏 名 二 氏 名 氏 名	生年月日 氏 名	入籍番號 氏 名	本 籍 地 縣 市 郡 村 大字 縣 市 郡 村 大字	留守 担当者 氏 名	一、佐世保人事 業務課資料 二、世話課(科) 資料 三、家族(身寄) 承知事項	一、() 遺骨 () 無 () () 遺品 () 有 () 無 () () 遺品 () 有 () 無 ()	現 住 所 市 郡 村 大字 市 郡 村 大字	情報提供 内地歸還年月日 昭和 年 月 日	部 隊 等 氏 名 氏 名	入籍番號 氏 名	現 住 所 市 郡 村 大字 市 郡 村 大字	一、組成の時刻及び場所(昭 年 月 日) 二、内地出撃の時刻及び場所(昭 年 月 日) 三、退却時(昭 年 月 日)	一、本人とは何 處で何時どこ 組にいたか 二、この時の本	一、本人とは何 處で何時どこ 組にいたか 二、この時の本	一、本人とは何 處で何時どこ 組にいたか 二、この時の本
---------------------------------	-----------------------	-------------	-------------	-----------------------------------	---------------	--	--	-------------------------------	-----------------------------	------------------	-------------	-------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

本記帳より法廷に提出

6332

62

終 結 處 分	二股調査以後において 家族の入手している情報	乗便者 乗便者 乗便者	乗便者 乗便者 乗便者
(公)	佐世保人事業務課にて判定	一、乗船名 二、行先 三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日 四、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数 五、事故の原因及びその年月日 (空襲、潜水艦、砲撃) 六、事故発生時の位置及び被害の状況 七、救難の状況	五、乗船(乗客)の状況 (イ) 空襲 (ロ) 砲撃 六、終戦時の状況 (イ) 所在地 (ロ) 隊員数 (ハ) 傷病者数 (ニ) 乗船又は収容地 (ホ) 給食 (ヘ) 衛生 (ヘ) 開港 (ヘ) 最終 (ヘ) 残留者 七、終戦後の状況 八、歸還の状況
(明)	佐世保人事業務課にて判定	本人の消息をよ く知つてゐる者 住居は氏名 住所氏名 その他説明上 必要となるべき事 項	三、同部隊名 四、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無 五、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無 六、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無 七、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無 八、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無 九、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無 十、乗船(乗客)の 家族の通知の有 無
(生)	佐世保人事業務課にて判定	昭和 年 月 日	昭和二十年六月十三日 佐世保市立病院 入院

現況不明者究明調書

(調査期日) 所 京 3 日

名	氏	隊	等級・身分	氏	名
60	日	5/	警	二	島
出身府縣	所管指員局	方面	入籍番號・軍屬は別添元		
二	横	・	・	・	島
市 20. 6. 24 古守島 為口に於て戦死 確実 告 事 項 事 告 者 氏 名 住 所 氏 名 役員者 氏 名 世話 申告者の言に相違 既知と見ます 官 理 吏 類 (印) 見 入					

1. 本調査は甲號一、乙號三を調査する
 2. 甲號……總へて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵復人に送付する
 3. 乙號……郵復人にて甲號により三返調査
 4. 調査世務課へ一通
 5. 所管復員局へ一通
 6. 所管世務課へ一通（復員局經由）
 7. 送付する
 8. 説明は郵復人で記入する

200-B

6335

昭和二十一年六月七日

特

6336

元第一海軍燃料廠支廠會計課長
元海軍主計少佐

是地ノ復員局人事部長殿

特務士官戦死行方不明状況報告

先般六月一日附タテ復員セラル際第一海軍燃料廠タカシ支廠
及且日降達復員者
二階下士官兵ノ戦死異状不明、モロタイ被銃送者名簿ヲ因取
總務課長負タリシ
技術大尉ニ貴部宛連絡提出ノエトモ依

頼致シ候處 特務士官ニ関スル未ダ状況報告セザリシ儘ト相成リ